

平成 27 年 8 月 4 日
西日本旅客鉄道(株)
JR西日本不動産開発(株)
オレンジ総研(株)
(株)アインファーマシーズ

吹田操車場跡地 4 街区 駅前複合商業施設開発
健康・医療まちづくりについて

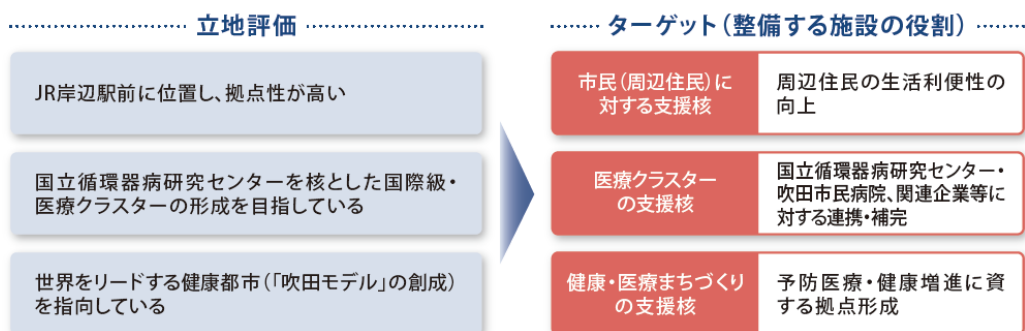
■開発コンセプト

JR西日本グループの総力をもって、豊かな市民生活と最先端の健康都市創造を目指します。

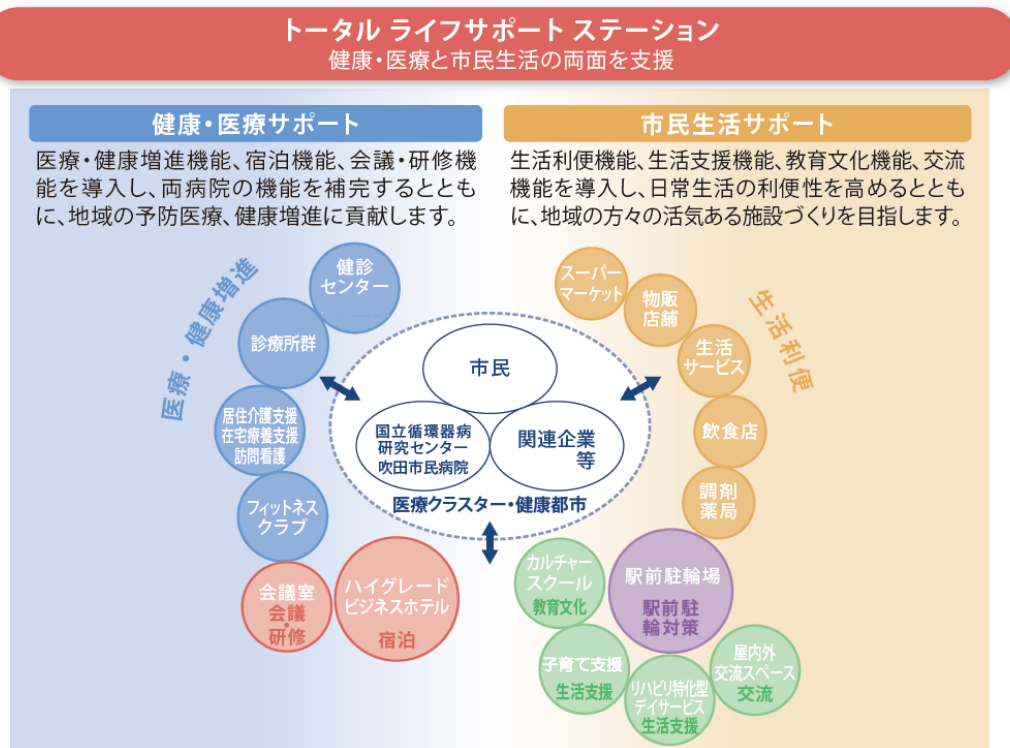
開発コンセプト

■立地評価、ターゲット

駅前立地、医療クラスター形成、健康都市「吹田モデル」の指向という立地を踏まえ、市民、医療クラスター、健康・医療のまちづくりのそれぞれに対して、支援の核を用意します。

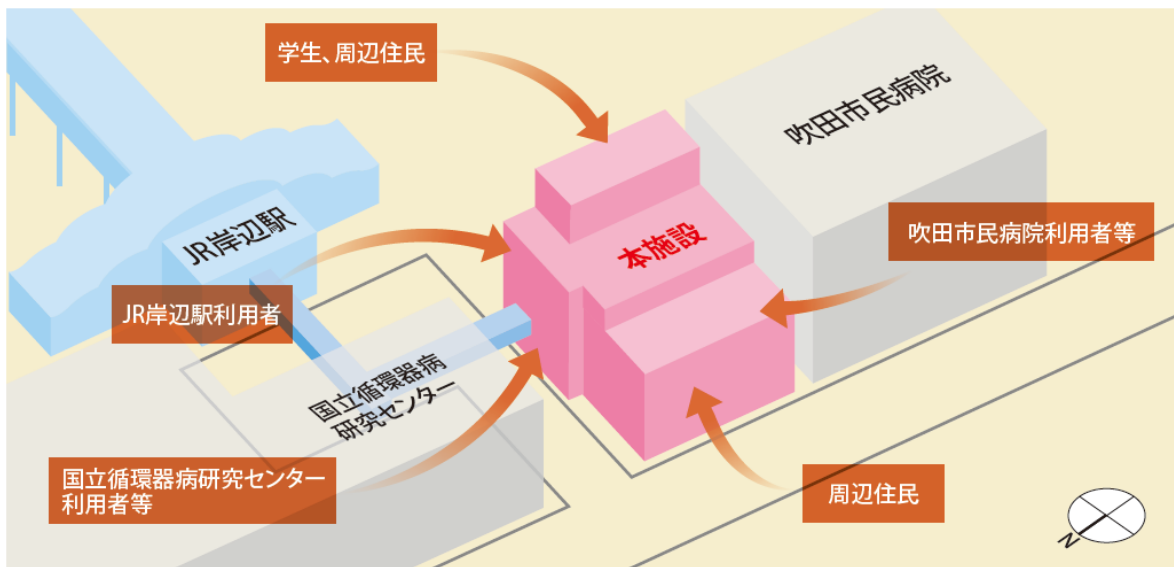


■テーマ、演出、魅力付け、集客力の創出



JR西日本グループの展開する様々な生活関連サービスを結集し、
快適で健康な暮らしを総合的にサポート

■施設概要

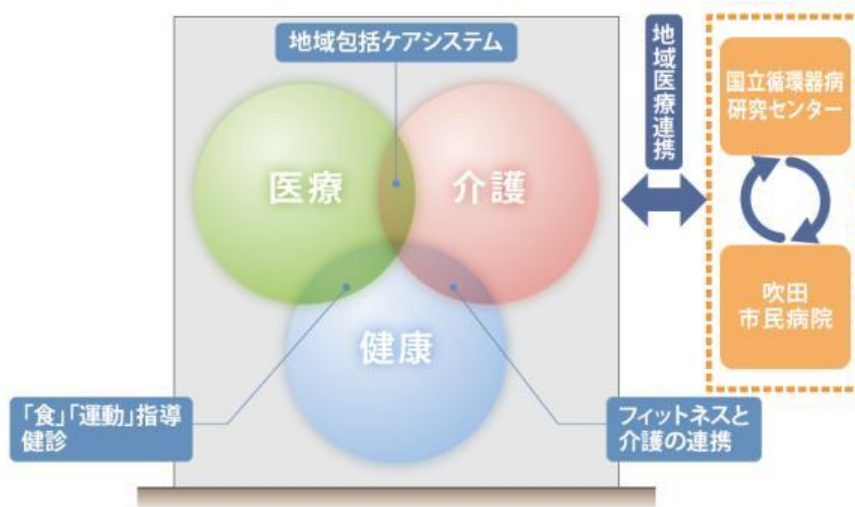


【想定業態】

- 6 F ～：宿泊特化型ホテル
- 5 F ：フィットネス、通所介護施設、屋外交流スペース等
- 4 F ：駐車場
- 3 F ：駐車場
- 2 F ：物販店、飲食店、クリニックモール、調剤薬局等
- 1 F ：スーパーマーケット、物販店、調剤薬局等

■健康・医療のまちづくりへの連携・協力への考え方

吹田市が制定された吹田操車場跡地まちづくり実行計画、および国立循環器病研究センターを中心とした医療クラスターの形成に向けた構想等の目的や課題を共有し、関係行政機関や両機関（国立循環器病研究センター・吹田市民病院）との連携を図ることにより、吹田操車場跡地を中心とした健康・医療のまちづくりに貢献します。



重層的な連携により相乗効果を引き出すことが可能

(1) 予防医療・健康増進に資する機能

関係行政機関や両機関と連携・協力を行い、地域の予防医療や健康づくりの推進に寄与するとともに、自然と楽しく来訪者に対し健康に関して行動変容を促すことのできる施設を目指します。

(2) 地域医療連携、地域包括ケアシステム構築に資する機能

両機関と病診連携の推進を図り、機能分化・地域医療連携に貢献します。併せて関係行政機関や両機関と連携を行うことで、本エリアが目指す「住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム」の構築に協力します。

■具体的な施策（案）

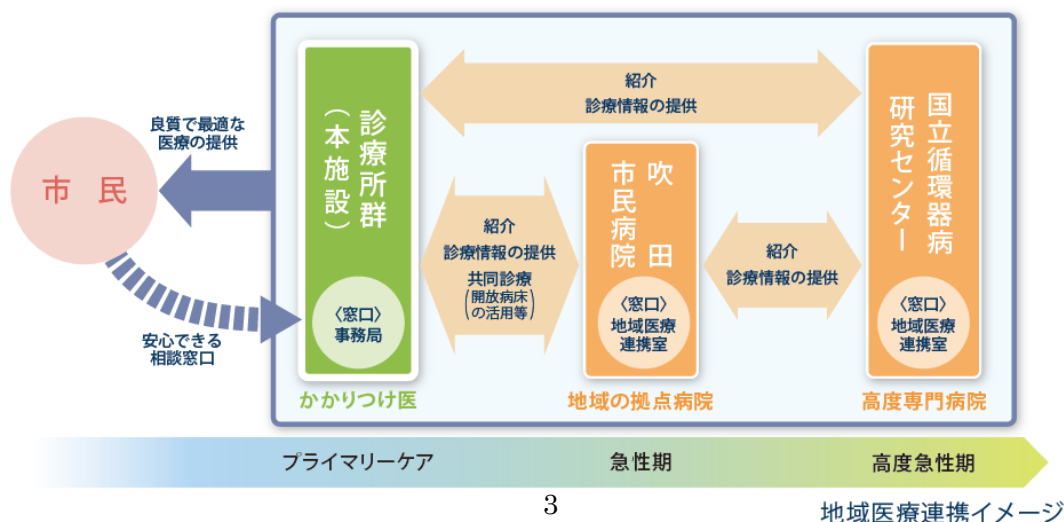
(1) 予防医療・健康増進に資する機能

- 国循との連携を行いスーパーマーケットでの“かるしお”レシピを活かした弁当の販売や、健康に考慮したメニューを提供できる飲食店の誘致を検討します。
- 調剤薬局や交流スペース等にて「健康イベント、セミナーの開催」、「食育イベント」、「栄養相談」、「健康相談」、「セルフ健康チェック」の実施を検討します。
- 診療患者のみならず来訪者が気軽に訪れることができる医療ゾーンと調和した健康情報発信拠点・語らいの場となる健康増進空間の形成を検討します。吹田市による健康管理拠点拡大モデル事業におけるテレビ電話端末の設置による健康相談に加え、健康相談員による健康相談サービスの実施等を検討します。
- 総合型フィットネスクラブを誘致し、健康増進にかかわる様々なメニューを提供します。
 - ・国循との連携により利用者のデータの収集、および予防プログラムの開発、実施
 - ・生活習慣病予防のための「特定保健指導コース」、介護予防のための「運動実践コース」の開催
 - ・緑の遊歩道を利用したランニングメニューの提供、ランニング専用会員のランニングステーション機能の導入検討、ランニングイベントの開催
 - ・“かるしお”レシピを活かした食事指導・普及活動の実施
 - ・「優良ヘルスケア事業者認証マーク」の積極的な取得
- カルチャースクール等による生涯学習、学びの場の提供を検討
- その他：館内共用部を原則禁煙対応（館内の限られた場所に遮蔽式の喫煙ルームを検討）
※テナント内部については現在協議中のため未定

(2) 地域医療連携、地域包括ケアシステム構築に資する機能

a) 地域医療連携の推進

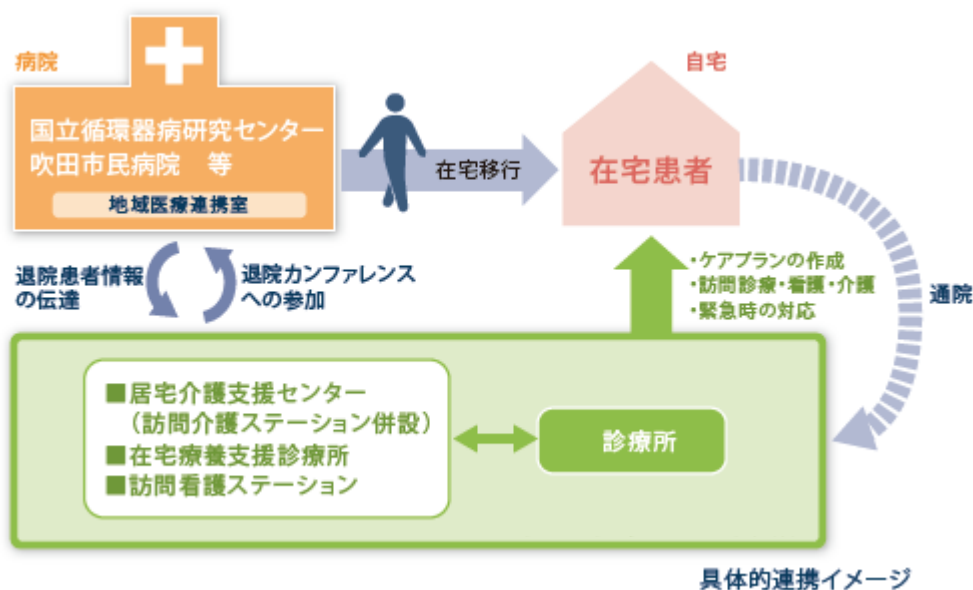
両機関との病診連携を推進し、地域医療の向上に貢献します。



- 医療モール内に約8診療所（予定科目：内科、整形外科、小児科、心療内科、眼科、耳鼻科、皮膚科、歯科）によるグループ診療体制を計画します。
- 各診療所は両機関等との連携（両機関の連携医に登録等）を緊密に図り、地域医療の向上に貢献します。
- 地域の方々の定期的な健診の促進を図り、地域の予防医療の窓口となる健診センター（一般健診、企業健診等の実施）の創設を検討します。
- 医療モールの事務局の設置により両機関との窓口機能を担うことでスムーズな連携を図ります。
- 医療モールの総合窓口の設置を設け、訪問者や患者様の利便性とサービス向上を図ります。
- 1Fに24時間対応可能な調剤薬局、2Fの通路に面して調剤薬局（2店舗予定）を計画し、両機関や市民や患者様の利便性向上を図ります。

b)地域包括ケアシステムの推進

関係行政機関や両機関と連携・協力を行い、健康・医療のまちづくり会議で目指すこのまちの地域包括ケアシステムの具現化に向け推進する。



- 医療モール内に訪問介護ステーション併設の居宅介護支援センター、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションの設置を検討します。
- 在宅患者に対してケアプランに基づいた訪問診療・看護・介護を実施します。
- 在宅患者から24時間連絡可能な体制を整え、緊急時の対応も可能にします。
- 居宅介護支援センターが両機関の地域医療連携室の窓口となりスムーズに在宅復帰を支援します。
- 在宅復帰をサポートするリハビリ特化型デイサービスにより利用者の特徴にあったリハビリプログラムを展開します。またフィットネスと連携し、それぞれの役割分担のもと比較的元気な方から要支援・要介護の方々まで幅広いニーズを満たすプログラムを準備します。